

令和 3 年度の
くらしのサポーター養成事業
について

社会福祉法人函館市社会福祉協議会

趣旨

地域における住民主体の助け合い活動の中心となる**キーパーソン**および**担い手**として、
くらしのサポーターを養成するとともに、
地域の活動の場へつなげることで、
高齢者の社会参加につながる**居場所づくり**など、
住民主体の**助け合い活動の創出・充実**を図ることを目的とする。

事業概要

(くらしのサポーターの養成)

(1) 養成研修 (1クール全5回・40人程度養成)

地域における住民主体の助け合い活動の入門的な研修

(2) ステップアップ研修 (1クール全6回・30人程度養成)

自ら地域で助け合い活動が実践できるリーダーの養成および共に地域で活動する仲間(グループ)づくりの場として、養成研修修了者を対象とした研修

(3) くらしのサポーターの登録者が円滑に地域活動に取り組むことができるよう、住民主体の活動とのマッチングや第2層生活支援コーディネーターとのマッチングを行う

(1) 養成研修について

①研修日程

日時	令和3年7月12日(月)～30日(火) 13:30～(全5回)
会場	亀田交流プラザ 他
対象	①市内在住で、ボランティアに興味・関心のある方 ②原則として、全カリキュラムが受講可能な方
定員	40人程度 ※申込順・無料
申込者	30人(補講者0人)

②周知方法

周知方法 5月より周知

- ・ 新聞記事掲載(北海道新聞, 函館新聞)
- ・ 研修案内郵送 1, 3 3 3 部
市内全町会, 市内全在宅福祉委員会,
函館市ボランティアセンター登録団体および個人登録者 等
- ・ 研修チラシ設置 3 6 0 部
市役所・各支所, 図書館, 地域包括支援センター 等
- ・ 研修チラシ配布依頼
函館市内高齢者大学(青柳校100部, 大門校130部)
- ・ 函館市社協HP、ブログ掲載
- ・ HBCおよびFMいるかラジオ「市からのおしらせ」
- ・ 市政はこだて6月号掲載

③カリキュラム

第1回	7月12日(月)	研修のねらいについて (10分)	事務局
		くらしのサポーターの役割について (140分)	函館市生活支援コーディネーター
第2回	7月14日(水)	ボランティアの基礎について (60分)	函館市ボランティア連絡協議会
		サロン等の実践について (20分)	道南地域センター「茜」シルバーカフェ
		認知症サポーターについて (90分)	函館市地域包括支援センター連絡協議会
第3回	7月15日(木) ～ 7月25日(日)	サロン等見学	市内各サロン等
第4回	7月29日(木)	サロン等見学振り返り (90分)	函館市生活支援コーディネーター
		社会資源の活用について (60分)	函館市地域包括支援センター連絡協議会
第5回	7月30日(金)	研修のまとめ (120分)	函館市生活支援コーディネーター
		事務局説明・修了式 ・今後の登録等について ・ボランティアポイント事業についての説明 (20分)	事務局

養成研修の様子①



左：第1回「くらしのサポーターの役割について」

右：第2回「ボランティアの基礎について」

養成研修の様子②



第3回「サロン等見学・体験」

養成研修の様子③



左：第4回「サロン等振り返り」

右：第5回「修了式」

養成研修修了者内訳

○養成研修申込者内訳

	30代	40代	50代	60代	70代	男女別合計
男	1人	0人	0人	1人	2人	4人
女	1人	1人	2人	4人	18人	26人
年代別合計	2人	1人	2人	5人	20人	30人

○養成研修修了者（登録者）内訳

	30代	40代	50代	60代	70代	男女別合計	登録者
男	1人	0人	0人	1人	2人	4人	4人
女	1人	1人	2人	2人	12人	18人	14人
年代別合計	2人	1人	2人	3人	14人	22人	18人

○養成研修修了者総数

	合計
平成28年度から平成30年度	203人
令和元年度から令和2年度	46人
令和3年度	22人
養成研修修了者計	271人

(2) ステップアップ研修について

①予定

日 時 令和3年11月頃

13:30～(全6回)

対 象 くらしのサポーター養成研修修了者
30人程度

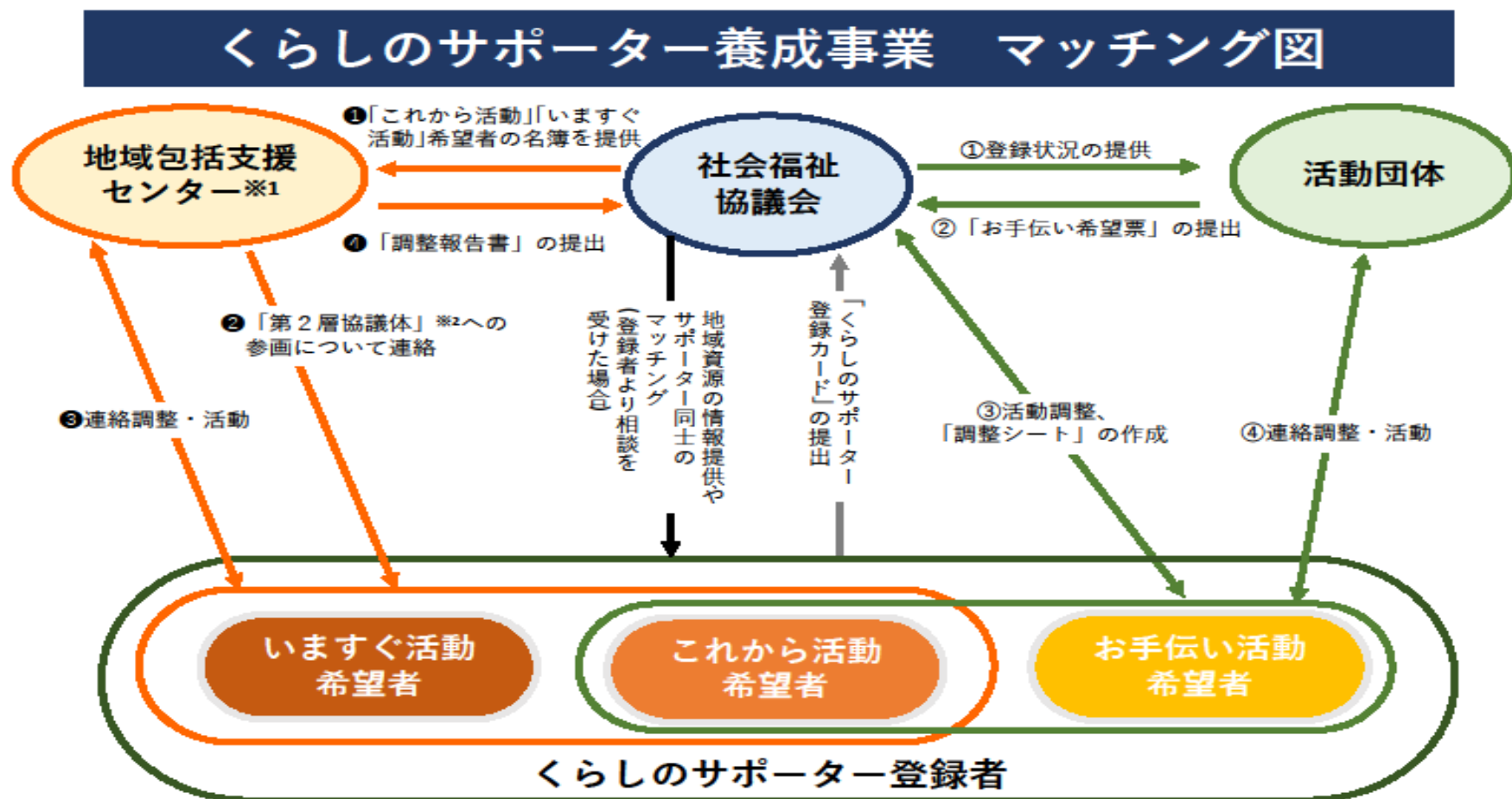
②カリキュラム（案）

令和2年度くらしのサポーター養成事業 ステップアップ研修 カリキュラムより

	日程	内容	講師（予定）
①	11月4日（水） 13:30～ 15:20 （5階多目的ホール）	オリエンテーション	事務局
		住民主体の助け合い活動の基本理解について（30分）	函館市保健福祉部 地域包括ケア推進課
		自分が住みたい地域像（目指す地域像）について（60分）	函館市生活支援 コーディネーター
②	11月5日（木） 13:30～ 15:40 （5階多目的ホール）	居場所づくりの基本理解（30分）	函館市生活支援 コーディネーター
		居場所づくりのシミュレーション（90分）	函館市生活支援 コーディネーター
③	11月6日（金） 13:30～ 15:40 （5階多目的ホール）	居場所等の情報提供（30分）	事務局
		サロン実践者発表（90分）	サロン実践者
④	11月10日（火） 13:30～ 15:00 （5階多目的ホール）	地域ケア会議（模擬）を体験（90分）	函館市地域包括 支援センター 連絡協議会
⑤	11月17日（火） 13:30～ 15:00 （5階多目的ホール）	地域ケア会議（模擬）の振り返りおよび共有について（90分）	函館市地域包括 支援センター 連絡協議会
⑥	11月25日（水） 13:30～ 15:40 （5階多目的ホール）	まとめ（60分）	函館市生活支援 コーディネーター
		交流会（60分）	函館市生活支援 コーディネーター

(3) マッチングについて

① マッチング (図)



※1) 地域包括支援センター：市が委託をし、市内に10か所ある。介護や福祉に関する相談を受けたり、地域づくりを行っている。
 ※2) 第2層協議体：地域包括支援センターが主催。地域住民が集まり、地域づくりを考えるための会議。(地域ケア会議ともいう。)

②くらしのサポーター—登録者数 (令和3年度)

○令和3年度登録者（令和3年8月現在）

	30代	40代	50代	60代	70代	男女別合計
男	1人	0人	0人	1人	2人	4人
女	1人	1人	1人	2人	9人	14人
年代別合計	2人	1人	1人	3人	11人	18人

○令和元年度から令和3年度までの登録者総数

	30代	40代	50代	60代	70代	80代	男女別合計
男	1人	0人	0人	4人	17人	2人	24人
女	1人	1人	4人	27人	35人	2人	70人
年代別合計	2人	1人	4人	31人	52人	4人	94人

○令和元年度から令和3年度までの登録者内訳

	合計
お手伝い活動希望者	73人
これから活動希望者	45人
いますぐ活動希望者	12人

※令和3年8月現在（令和元年11月新規登録制度による整理後）

③くらしのサポーター—登録者 活動希望内訳

活動	登録者数 (重複あり)	活動例
① お手伝い活動 既にある住民主体の活動をサポートする	13人	既にある住民主体の活動をしている団体（サークルやサロン、居場所、町会活動など）へ、継続的な運営の補助や単発的な行事の手伝いなど、サポートを行う。
② これから活動 これから地域で活動する場を自ら見出し創出する	9人	
③ いますぐ活動 自ら地域で活動する場を創出する	2人	居場所やサロン、地域食堂などの住民主体の助け合い活動を創出する。

④地域包括支援センターへの 名簿の提供実績

○地域包括支援センターへ情報提供をした「これから活動」
「いまずぐ活動」希望者の人数 のべ187人

圏域別人数（重複あり）	・ 市内全域	5人	
・ 西部（あさひ）	15人	・ 北東部第1（西堀）	20人
・ 中央部第1（こん中央）	19人	・ 北東部第2（亀田）	18人
・ 中央部第2（ときとう）	22人	・ 北東部第3（神山）	22人
・ 東央部第1（ゆのかわ）	27人	・ 北部（よろこび）	11人
・ 東央部第2（たかおか）	19人	・ 東部（社協）	9人

○地域包括支援センターが開催する「第2層協議体（地域ケア会議）」
への参加人数

- ・ 地域包括支援センターあさひ 3名（令和3年3月12日開催懇談会）
- ・ 地域包括支援センターよろこび 1名（令和2年2月16日開催）

※令和3年8月現在

⑤活動団体とのマッチング（１） （令和３年度）

○社会福祉協議会事業とのマッチング

- ・ 地域福祉コーディネーター（地域づくり活動支援事業）
として３名が活動
- ・ 地域づくり活動支援事業、たかおか地区 地域交流サロン
ひなたぼっこでのサロン活動に４名参加
- ・ 事業所コロポックルはこだて １名参加

※令和３年８月現在

⑤活動団体とのマッチング（2） （令和3年度）

○住民主体の活動とのマッチング

①既存団体への意向調査、サポーター受け入れ依頼

（5月～6月実施）

- ・ NPO法人ナルク函館はまなす
- ・ にこにこ子ども食堂
- ・ 子どもの広場あしおれん
- ・ 石川町会，在宅福祉委員会
- ・ 地域支援グループづくりの木
- ・ 地域交流サロンひなたぼっこ
- ・ 函館の地域福祉を考える会
- ・ 函館認知症の人を支える会

②地域支援グループづくりの木にてサロン活動 1名

⑤活動団体とのマッチング（3） （令和3年度）

○住民主体の活動とのマッチング

- ・ 令和3年3月に市町会連合会常任理事会にて説明
※その後、コロナ禍でもあり一旦、反応、様子見の状況である。
6月開催の理事会では養成研修のチラシ配布周知を行った。

○その他

- ・ 函館市地域包括ケア推進課を通じて「おでかけリハビリ推進協議会」から特別養護老人ホーム潮寿荘でのおでかけリハビリ活動依頼の周知について依頼があったので、東部圏域くらしのサポーター修了者へ情報提供を行った。